

さる7月14日（火）～7月20日（月・祝）、福岡市美術館と福岡県美術館において、第54回「日本の書展」が開催され、心理・文化学科の古木誠彦先生（本学科長・教授、号：青翰）が出品されました。

この展覧会は、「現代書壇を代表する一流書家の作品が会派を超えて一堂に」を趣旨とし、関西・中部・東京・九州と毎年開催されるものです。

古木先生の作品は、秦時代の里耶秦簡（中国の里耶古城遺跡出土の秦代簡牘群で、紀元前222年から紀元前208年にいたる行政文書が秦隸で記載されている）の書法を現代風にアレンジしたものです。

第54回「日本の書展」/ 2026
「現代書壇巨匠」「現代書壇代表」「委嘱」「招待」「秀抜選」の作品を展示

関西展
5月2日（土）～5月4日（月・祝）
マイドームおおさか（1・2階展示ホール）
午前10時～午後5時【最終日は午後4時まで】

中部展
6月3日（水）～6月7日（日）
愛知県美術館ギャラリー（愛知芸術文化センター8階）
午前10時～午後6時【最終日は午後4時まで】

東京展
6月11日（木）～6月21日（日）＜16日（火）は休館日＞
国立新美術館（1階展示室1A～1D）
◆公募臨書（東京展併催 1階展示室1D）
前期：6月11日（木）～6月15日（月）
後期：6月17日（水）～6月21日（日）
午前10時～午後6時
東京展会期中のお問い合わせ：公募展案内ダイヤル 03-6812-9921

九州展
＜第1会場＞ 現代書壇巨匠・現代書壇代表・委嘱
7月14日（火）～7月20日（月・祝）
福岡市美術館（2階ギャラリー）
午前9時30分～午後5時30分
＜第2会場＞ 招待・秀抜選
7月14日（火）～7月20日（月・祝）
福岡県立美術館（3階展示室）
午前10時～午後6時【最終日は午後3時まで】

主催 【全 展】公益財団法人全国書美術振興会
【関西展】産経新聞社 【中部展】中日新聞社
【東京展】共同通信社 【九州展】西日本新聞社

後援 【全 展】文化庁
【関西展】大阪府 【中部展】愛知県 東海テレビ放送 【九州展】福岡県

協賛 【関西展】公益財団法人日本書芸院
【中部展】公益財団法人中部日本書道会

各展入場無料 Admission Free
各展、入場は閉場時間の30分前まで
◆各展覧会場内にてギャラリートークを行います（詳細 表面）

※開催情報は変更となる場合があります。最新情報は、表面のお問い合わせ先まで。

日本の書展



作品の内容は「驪龍之珠」、意味は「手に入れることが極めて困難な、非常に貴重な宝物の意」。

「あえて困難なことに向かって、自分だけしかできない貴重な体験をしたい」という意味を込めて書きました（古木談）。